

科目名	リスクマネジメント Risk Management		選択	2 単位
学期・曜日・時限	春・土・集中※	-	-	-
担当教員名	加藤 晃			
<p><講義の概要と目的></p> <p>企業価値の創造には必ずリスクが伴う。そもそもリスクとは何だろうか？経営リスクは回避、軽減、防止するとともに、リスクテイクしてチャンスを実現のものにできるかどうか、企業経営の課題である。リスクは無くすものではなく、想定内にコントロールすべきものである。経営戦略の実行段階におけるリスクとチャンスを不確実性およびコーポレートファイナンスの視点から捉え、効果的に管理し、復元力があり持続可能性の高い企業にするにはどうすれば良いのかという観点から講義、ディスカッションを行う。事業計画策定においてリスクを管理するのに必要な知識・アプローチ方法の習得を目的とする。</p>				
<p><講義計画></p> <p>【4月22日（土）13：00－17：50】</p> <p>第1回： 企業経営とリスク（①第1章、第2章） リスクとは何か、リスクマネジメント（以下、RM）の目的、ERM ①の該当する章の予習及び授業の復習</p> <p>第2回： リスクの認識と測定（①第3章）、課題プレゼンのチーム分け 事業エクスポージャ、確率と統計の基礎、損失の強度と頻度 ①の該当する章の予習及び授業の復習</p> <p>第3回： リスク受容度ロス、コントロール、日本の労災（①第9章、第11章） 株主の分散と保険購買、損失予防・軽減、労災の事例 ①の該当する章の予習及び授業の復習</p> <p>【5月13日（土）10：30－17：50】</p> <p>第4回： 株主とリスクの保有・軽減（①第13章、第14章、第15章） RMと資本の機会費用、期待キャッシュフロー、ロスファイナンス、リスク保有 ①の該当する章の予習及び授業の復習</p> <p>第5回： リスクの保険可能性、リスクの分析手法（①第10章、第19章） 保険可能性を制限する要件、RMのツール、相関分析、割引キャッシュフロー ①の該当する章の予習及び授業の復習</p> <p>第6回： 賠償責任とマネジメント（①第21章、第22章） 製造物責任、環境責任、取締役・執行役の賠償責任、使用者賠償責任 ①の該当する章の予習及び授業の復習</p> <p>第7回： ケーススタディ 食品製造業のRM（DVD）</p> <p>【6月10日（土）10：30－17：50】</p> <p>第8回： 市場リスク、信用リスク、業務リスク（①第17章） デリバティブ、先物、個人情報漏洩、与信管理、その他 ①の該当する章の予習及び授業の復習</p>				

第9回： 中間テスト、最近の話題（不当労働慣行またはサイバーアタックなど）

第10回： 有価証券報告書からリスクを読み解く

食品製造業またはIT

第11回： ケーススタディ

サービス業のRM（DVD）

【7月8日（土）10：30-17：50】

第12回： 課題プレゼンテーション（1） 学生グループによる発表とディスカッション

第13回： 課題プレゼンテーション（2） 学生グループによる発表とディスカッション

第14回： 危機管理1

危機管理のシミュレーション体験（1）

第15回： 危機管理2

危機管理のシミュレーション体験（2）

<講義の進め方>

米国のビジネススクールで多く使われている参考書①を使つての講義、実例に基づくディスカッションを行う。ケーススタディ、課題プレゼンでリスク分析・対策の演習を行う。授業における積極的な発言・貢献を期待している。

<教科書及び教材>

ハンドアウトを配付する（中古本でも良いので、参考書①の購入が望ましい）

<参考書>

①『保険とリスクマネジメント』ハリントン&ニーハウス（2005）東洋経済新報社 6,000円

②『テロ・誘拐・脅迫 海外リスクの実態と対策』加藤晃（2015）同文館 2,200円

<成績評価方法>

- ・欠席6回以上は成績評価を行わない。
- ・授業での貢献度、課題プレゼン、中間テストを、3:4:3の比率にて評価する。

<履修条件> 特になし。

<DVDによる視聴> 可

<オフィスアワー> なし。なお、質問はいつでもメールで受け付けます。

<その他> 特になし。

※4月22日（土） 2限、3限、4限

5月13日（土） 1限、2限、3限、4限

6月10日（土） 1限、2限、3限、4限

7月8日（土） 1限、2限、3限、4限